

第 244 回価格審査委員会議事要旨

開催日時、場所	2024 年 2 月 16 (金) 午前 9 時 58 分～11 時 38 分 経済調査会会議室		
出席委員	井上清敬、加藤佳孝、久後翔太郎、小路直彦、野口貴文 (委員長) (五十音順)		

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果																										
<p>1. 前回議事概要の確認</p> <p>2. 「積算資料」3 月号土木系資材の価格変動の妥当性について</p>	<p>・ 前回議事概要案が承認された。</p> <p>・ 審査対象資材のうち、3 月号で掲載価格に変動が生じる土木系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;"><品目></th> <th style="text-align: center;">[地区]</th> <th style="text-align: center;">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">【上伸した資材】</td> </tr> <tr> <td>鉄スクラップ</td> <td>札幌、金沢、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、那覇</td> <td>国内の発生量は低調だが、鉄鋼需要が低迷しているため、需給は低位で均衡。先月中旬の輸出向け入札価格上昇を受けて、電炉メーカーは購入価格を引き上げ、問屋筋も追随し、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td>千葉</td> <td>原材料コスト増加を理由に昨年 1 月より打ち出した値上げの未達分について、組合は昨年 11 月以降、大口物件を中心に売り腰を強め、昨年 9 月に続き、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td>横浜</td> <td>原材料コスト増加を理由に昨年 1 月より打ち出した値上げの未達分について、組合は足並みをそろえて売り腰を強め、昨年 9 月に続き、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td>福井</td> <td>組合は非組合員との競合で下落した価格を立て直すべく、昨年 8 月より値上げを打ち出す。非組合員も原材料コスト等増加から値上げに追随し、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td>熊本</td> <td>製造コスト等増加を理由に組合は昨年 10 月より値上げを打ち出す。昨年に続く大幅値上げから抵抗もみられたが、安定供給を優先する需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>コンクリート用砂 (荒目) (細目) コンクリート用砕石</td> <td>仙台</td> <td>製造コスト増加を理由にメーカーは昨年 4 月より値上げを打ち出す。昨年 8 月、11 月に生コン市況が上昇した主需要者である生コン工場が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。</td> </tr> </tbody> </table>			<品目>	[地区]	(理由)	【上伸した資材】			鉄スクラップ	札幌、金沢、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、那覇	国内の発生量は低調だが、鉄鋼需要が低迷しているため、需給は低位で均衡。先月中旬の輸出向け入札価格上昇を受けて、電炉メーカーは購入価格を引き上げ、問屋筋も追随し、市況上伸。	生コンクリート	千葉	原材料コスト増加を理由に昨年 1 月より打ち出した値上げの未達分について、組合は昨年 11 月以降、大口物件を中心に売り腰を強め、昨年 9 月に続き、市況上伸。	生コンクリート	横浜	原材料コスト増加を理由に昨年 1 月より打ち出した値上げの未達分について、組合は足並みをそろえて売り腰を強め、昨年 9 月に続き、市況上伸。	生コンクリート	福井	組合は非組合員との競合で下落した価格を立て直すべく、昨年 8 月より値上げを打ち出す。非組合員も原材料コスト等増加から値上げに追随し、市況上伸。	生コンクリート	熊本	製造コスト等増加を理由に組合は昨年 10 月より値上げを打ち出す。昨年に続く大幅値上げから抵抗もみられたが、安定供給を優先する需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。	コンクリート用砂 (荒目) (細目) コンクリート用砕石	仙台	製造コスト増加を理由にメーカーは昨年 4 月より値上げを打ち出す。昨年 8 月、11 月に生コン市況が上昇した主需要者である生コン工場が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。
<品目>	[地区]	(理由)																									
【上伸した資材】																											
鉄スクラップ	札幌、金沢、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、那覇	国内の発生量は低調だが、鉄鋼需要が低迷しているため、需給は低位で均衡。先月中旬の輸出向け入札価格上昇を受けて、電炉メーカーは購入価格を引き上げ、問屋筋も追随し、市況上伸。																									
生コンクリート	千葉	原材料コスト増加を理由に昨年 1 月より打ち出した値上げの未達分について、組合は昨年 11 月以降、大口物件を中心に売り腰を強め、昨年 9 月に続き、市況上伸。																									
生コンクリート	横浜	原材料コスト増加を理由に昨年 1 月より打ち出した値上げの未達分について、組合は足並みをそろえて売り腰を強め、昨年 9 月に続き、市況上伸。																									
生コンクリート	福井	組合は非組合員との競合で下落した価格を立て直すべく、昨年 8 月より値上げを打ち出す。非組合員も原材料コスト等増加から値上げに追随し、市況上伸。																									
生コンクリート	熊本	製造コスト等増加を理由に組合は昨年 10 月より値上げを打ち出す。昨年に続く大幅値上げから抵抗もみられたが、安定供給を優先する需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。																									
コンクリート用砂 (荒目) (細目) コンクリート用砕石	仙台	製造コスト増加を理由にメーカーは昨年 4 月より値上げを打ち出す。昨年 8 月、11 月に生コン市況が上昇した主需要者である生コン工場が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。																									

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果	
	コンクリート用砂 富山 (荒目) (細目) クラッシュラン	運搬費や採取地開発費用などのコスト増加を理由にメーカーは昨年4月より値上げを打ち出す。供給量が減少する中、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	コンクリート用砂 福岡 (荒目) (細目)	燃料費高騰による採取、運搬コスト増加を理由に海砂販売組合は昨年10月より値上げを打ち出す。昨年8月に生コン市況が上昇した主需要者である生コン工場が受け入れ、市況上伸。
	クラッシュラン 仙台	製造コスト増加を理由にメーカーは昨年4月より値上げを打ち出す。秋口以降、仙台港の発電所工事や宅地造成工事等で値上げ交渉が進展し、市況上伸。
	クラッシュラン 前橋	製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは一昨年8月以降、値上げを打ち出す。県外産や再生材との競合で交渉は難航したが、今年度下期以降、民需増加で売り腰を強め、市況上伸。
	PHC パイル 長野	原材料コスト増加を理由にメーカーは昨年7月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	PHC パイル 中部	製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年7月より値上げを打ち出す。大型物件の減少からメーカー間の競合が減少し、メーカーは採算重視の姿勢で売り腰を強め、市況上伸。
	再生加熱アスファルト混合物 盛岡	ストアス等原材料コスト増加を理由にメーカーは値上げ交渉を継続。今年度下期以降、採算悪化に危機感を強めるメーカーが売り腰を強め、市況上伸。
	鉄筋コンクリートU形 札幌	製造コスト、運搬コスト増加を理由に道央製品組合は昨年10月より値上げを打ち出す。非組合員がいない中、安定供給を優先する需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果	
	鉄筋コンクリート U 仙台 形 自由勾配側溝 RC ボックスカルバ ート ベンチフリューム	製造コスト増加を理由に一部メーカーは昨年 4 月より値上げを打ち出す。原材料コストのさらなる上昇を受けて、他のメーカーも値上げに追随し、市況上伸。
	鉄筋コンクリート U 山形 形 自由勾配側溝	製造コスト、運搬コスト増加を理由に一昨年 4 月より打ち出した値上げの未達分について、メーカーは各種コストが高止まりする中、採算重視の姿勢で売り腰を強め、昨年 2 月に続き、市況上伸。
	鉄筋コンクリート U 福島 形	原材料、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年 4 月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、下期以降、採算重視の姿勢で売り腰を強め、値上げの一部が浸透して、市況上伸。
	鉄筋コンクリート U 富山 形	原材料コスト増加を理由にメーカーは昨年 4 月より値上げを打ち出す。需要減少で一部メーカーが廃業する中、安定供給を優先する需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。
	鉄筋コンクリート U 長野 形 RC ボックスカルバ ート ベンチフリューム	原材料コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年 4 月より値上げを打ち出す。下期以降、原材料コストのさらなる上昇を受けて、採算重視の姿勢で売り腰を強め、市況上伸。
	鉄筋コンクリート U 神戸 形	原材料、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年 3 月より値上げを打ち出す。燃料費の高止まりで隣接県からの安値流入が減少する中、採算重視の姿勢で売り腰を強め、市況上伸。
	鉄筋コンクリート U 鳥取 形 自由勾配側溝	原材料コスト増加を理由にメーカーは昨年 3 月より値上げを打ち出す。燃料費の高止まりで隣接県からの安値流入が減少する中、採算重視の姿勢で売り腰を強め、市況上伸。
	自由勾配側溝 盛岡 RC ボックスカルバ ート	製造コスト、運搬コスト増加を理由に一昨年 4 月より打ち出した値上げの未達分について、メーカーは各種コストが高止まりする中、採算重視の姿勢で売り腰を強め、一昨年 10 月に続き、市況上伸。

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果	
自由勾配側溝 RC ボックスカルバート	秋田	製造コスト増加を理由に最大手メーカーは昨年 4 月より値上げを打ち出す。下期入り後、各種コストが高止まりする中、他のメーカーも値上げに追随して売り腰を強め、市況上伸。
自由勾配側溝	新潟	製造コスト増加を理由にメーカーは昨年 4 月より値上げを打ち出す。需要減少で一部メーカーが廃業する中、安定供給を優先する需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。
自由勾配側溝	鹿児島	原材料、運搬コスト増加を理由に県製品組合は昨年 10 月より値上げを打ち出す。公共工事の県産品指定もあり他県からの流入がないため値上げが浸透し、市況上伸。
RC ボックスカルバート	金沢	製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年 1 月以降、値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、各種コストが高止まりする中、採算重視の姿勢で売り腰を強め、市況上伸。
RC ボックスカルバート	鹿児島	原材料、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年 4 月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、下期以降、足並みをそろえて売り腰を強め、市況上伸。
コンクリート積みブロック	水戸	豪雨災害の復旧工事で需要が増加する中、原材料コスト増加を理由にメーカーは値上げを実施。供給メーカーが限られることから、安定供給を優先する需要者が受け入れ、市況上伸。
【下落した資材】		
軽油	全国	1 月の中東産原油価格は前月より上昇したが、政府の補助金が増えた影響により元売卸価格は下落。販売業者は仕入れコスト低下分を販売価格へ反映し、市況下落。
ストレートアスファルト	全国	ストアス価格算定期間内の元売原油調達価格は下落し、元売会社は卸価格を引き下げた。ディーラーは道路舗装会社との価格交渉において卸価格の変動額を反映し、市況下落。

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果
<p>○PHC パイルについて、東日本、特に北海道、東北、北陸の価格水準が高く、西日本が低い傾向にあるが、理由は。</p> <p>○能登半島地震の被災地において、建設資材の価格に影響は出ているか。</p> <p>○生コンクリートについて、最近価格が大きく上昇する地区が多い中、福井地区は今回上昇しても価格水準が低い、どのような状況か。</p> <p>3. 「積算資料」3月号建築系資材の価格変動の妥当性について</p> <p>4. その他 (1) 次回開催予定</p>	<p>・価格が高い地区は、協同組合による共同販売を実施していたり、メーカー数が少なく特定のメーカーが高いシェアを有しているケースが多い。また、地区の需要量の差や運搬距離の影響も価格差の要因と考えられる。</p> <p>・現在、復旧段階のため、価格については大きな動きはまだみられていない。今後、復興段階になり資材によって需給が逼迫すると、価格面でも影響が出てくることが考えられる。輪島地区については、生コンクリート、骨材・砕石、再生加熱アスファルト混合物の工場が被害を受けて、この1カ月間に取り引きが確認できなかったため、掲載価格を「…」(資料なしまたは不明)としている。</p> <p>・福井地区は以前から生コン協組の結束が弱く、市況も低迷していた。北陸新幹線延伸工事を機に共同販売体制を構築し、市況も上伸したが、同工事の特需が終息して需要が大幅に減少すると組合の足並みが乱れ、有力な非組合員工場もあることから競合で市況が低迷している。今回の市況上伸は、競合により昨年3月に市況が下落した分を各種コスト増加を受けて値戻した形である。</p> <p>・審査対象資材のうち、3月号で掲載価格に変動が生じる建築系資材、都市はなかった。</p> <p>・2024年3月18日(月)15時～17時と決定。</p> <p style="text-align: right;">(以 上)</p>

価格審査委員会規約

(目的)

第 1 条 一般財団法人 経済調査会が実施する資材価格及び工事費(以下「資材価格等」という。)の調査結果について、その妥当性を高め調査の信頼性を向上させることを目的として、第三者による価格審査委員会(以下「委員会」という。)を設置するものとする。

(委員会の事務)

第 2 条 委員会は、代表理事の委嘱に基づき、次の事務を行う。

- 一 資材価格等(定期刊行物に掲載するものに限る。以下同じ。)の調査結果の妥当性について審査すること。審査は公共工事において重要度の高い品目、工事費を選定して行うものとする。
- 二 その他資材価格等の調査に関して必要と認められる事項について審議すること。

(委員会の委員及び任期)

第 3 条 委員は公正中立の立場で審査を適切に行うことのできる学識経験等を有する者のうちから、代表理事が委嘱する。

- 2 委員会は、委員 8 人以内で組織する。
- 3 委員の任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。また、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、非常勤とする。

(委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。

- 2 委員長は、委員会を代表する。
- 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(委員会の開催)

第 5 条 委員会は、委員長が招集し、原則として毎月 1 回開催する。

(審査の報告・助言)

第 6 条 委員会は、第 2 条により審査の対象となった事項に関し、必要に応じて代表理事に対し審査結果の報告または助言を行う。

(意見等の聴取)

第 7 条 委員会は、第 2 条の事務を行うにあたり、必要に応じて委員以外の者から意見等を聴取することができる。

(秘密を守る義務)

第 8 条 委員は第 2 条の事務を処理する上で知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(事務局)

第 9 条 委員会の事務局は、一般財団法人 経済調査会 調査監理部審査室に置く。なお事務局は価格動向、価格変動理由等の資料を委員会に提出するものとする。

附則

この規約は、平成 15 年 11 月 13 日から施行する。

この規約は、平成 16 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 18 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 21 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 24 年 6 月 15 日から改定施行する。